

SDGsへの挑戦 – それぞれのきっかけからメリットまで！ –

事業者	三立応用化工株式会社		
所在地	群馬県伊勢崎市	業種	プラスチック製品製造業
設立	1961年	環境経営継続期間	15年
従業員数	28名	SDGs取組開始年	2018年



- 製造業として、環境負荷の最少化は当然のこと
- 環境への取組が紹介され、エコロジカルに仕事をする企業として知名度がアップ

2. SDGsを意識した取組の意義・効果・変化

■ 取組の意義

- 製造業は、自然環境に確実に負の影響を与えている。その影響を最小限にすることは当然のことと捉えている。
- SDGs活動に積極的に取組むことにより、持続可能な社会の実現に貢献できると考えている。

■ 取組の効果、変化

- 環境経営レポートやSDGsの取組が、地域のFM局などで取り上げられ、エコロジカルに仕事をしている企業として知名度が上がった。
- 従業員の視野が広がり、自身の活動の結果が世界につながっていると感じるようになった。

1. SDGsを意識した取組の現状と経緯

■ 取組の現状

- エコアクション21（EA21）に基づいた環境経営を継続。生産の効率化、高効率設備への更新、生産資源の有効活用、不良品削減などに取組んでいる。
- 5S活動を継続し、年2回の安全パトロールの実施や、EV車製造企業への協力、地域公共交通システムの維持活動への支援なども行っている。

■ 取組を始めた経緯

- EA21の更新審査の際にSDGsの重要性について知り、勉強を始め、環境経営方針にSDGsへの取組を加えた。

環境経営方針

《基本理念》

私たちは、プラスチック・金属を主材料とする応用製品の開発・製造を主業とする『ものづくり企業』として、地球環境保護及びSDGsの重要性を認識し、“持続可能な社会の実現に貢献しうる活動”に積極的に取り組み、お客様から信頼される企業を目指します。

3. 取組の進め方

- 担当者がSDGs講習会等に参加し、SDGsについての知識を得た。
- SDGsのためだけに新たなことを始めようとせず、まずは今行っている活動が17項目のうちのどれに該当するかを考えた。

- 土壌/水系への汚染防止のための地下重油タンクの運用方法見直し
- 日常の衛生に寄与する除菌剤の製造と提供
- 不良予防活動により本来不必要な電力の使用を削減
- モーターのエネルギー効率向上のためのモールド加工
- 人事面接をコミュニケーションの機会として活用
- 地域の足である公共交通関連イベントへの参加
- 電動バスメーカー((株)シンクトゥギャザー)への製作スペース提供
- 事務用品はグリーン購入適合品を積極的に選択
- 樹脂/金型洗浄に使用する溶剤等の環境規制物のミニマム化
- 樹脂加工の需要情報を保有している樹脂材料メーカーとの連携

SDGsを意識した具体的な取組例